

場所・面積 三重県伊賀市、1.79 ha

管理目的 湿地の希少植物を保護する

サイト概要 三重県伊賀市青山羽根の別荘地計画跡地。2010年に寄贈された山林約1.4haのトラスト地である。全域にコバノミツバツツジが群生する花崗岩質のやせ山である。土地が痩せているため、微地形に応じた多様性のある植生が見られ、一帯には小さい溪流、雨が降れば水の溜まるヒルムシロの小池、ミズゴケ等の生える3カ所の湧水湿地がある。

土地利用の変遷 もともと放牧地であったが、利用が停止された後は植生遷移が進行し、アカマツ、ソヨゴ等を主とした二次林に変化していた。周辺は宅地開発されようとしたが放棄された。元の所有者は1967年に土地を購入したが、利用することなく2010年に死去され、ご遺族より当協会に寄付された。

サイト周辺の環境 北側は宅地開発跡地が隣接し、南側は二次林が広がっている。

アピールポイント 準絶滅危惧種の植物2種をはじめ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、ミズゴケなどが生育している貴重な湿地を含む里山である。大阪自然環境保全協会が所有している土地なので、保護が担保されている。



生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

コナラ、アカマツ、ソヨゴ、リョウブ、ヒサカキ、コバノミツバツツジなどの二次林の中に湿地が3ヶ所点在し、そのうち2か所に希少な植物が生育している。

【確認された希少種】

2022年8月に、環境省レッドリストの準絶滅危惧種の植物 1 種と、三重県レッドリストの準絶滅危惧種となっている植物 1 種が確認された。

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
【管理計画の内容】 年1回、冬に植生管理を行う。夏のモニタリング時にも必要に応じて倒木の除去や草刈りを行う。 【管理計画の内容】 冬に湿地周辺の樹木の間伐や観察路の整備を行う。	【モニタリング対象】 湿地植物 【モニタリング場所】 生育する植物の種名と個体数 【モニタリング手法】 ラインセンサスによる目視確認 【実施時期及び頻度】 夏に毎年1回 【実 施 体 制】 大阪自然環境保全協会内のトラスト委員会